

## コンゴ共和国月報(2023年4月)

在コンゴ(民)日本国大使館

### 内政・外交

- 3 日、中国大使館はブラザビルにて、中国医療チームのコンゴ(共)派遣 10 周年を記念する式典を開催。
- 4 日、ジスレーン・イングリド・オルガ・エブカ＝ババカス・コンゴ(共)計画・統計・地域統合大臣は、25 日から開始予定の第 5 回目の一般国勢調査に関して、コンゴ(共)上院議長並びに下院議長に対し議会の関与を要請。
- 11 日、国連開発計画のアンリ・レネ・ディウフ副常駐代表との会談の後、元兵士社会復帰を担当するユーロギー・ランドリー・コレラ高等弁務官は、元兵士 7,500 人、関係者 2,500 人、プール県のコミュニティを含む 1 万人の受益者に対する DDR プログラム(元兵士の武装解除、動員解除、社会復帰)を今月末に開始すると発表。
- 11 日、ブラザビルにて、デジタル変革加速プロジェクト(PATN)がレオン・ジュスト・イボンボ・コンゴ(共)郵政・通信・デジタル経済大臣によって開始。
- 12 日、米国のユージェヌ・ヤング駐コンゴ(共)大使は、元兵士の社会復帰を目指すユーロギー・ランドリー・コレラ高等弁務官に対し、同国がプール県で進行中の和平プロセスを引き続き支援することを強調。
- 13 日、ピエール・ンゴロ・コンゴ(共)上院議長と面会したゲオルギー・トチェピク駐コンゴ・ロシア連邦大使は、来年 7 月に開催される第 2 回ロシア・アフリカ首脳会議の前哨戦として、3 月 19 日から 20 日にかけてモスクワで開催された第 2 回ロシア・アフリカ議会会議は、今後の両者の関係の方向性を定めるものであったと説明。
- 13 日、新たな野党連合「2026年の民主的変化のための同盟」(2AD26)が発足。
- 14 日、ディユドネ・バンチンバ・ブラザビル県・市議会議長は、6 月に中国の湖南省東部の都市、長沙で開催される中国・アフリカ経済貿易展への招待を、馬福林駐コンゴ(共)中国大使から受けた。
- 15 日、河川経済・水路省はブラザビルでチュニアの民間企業「Société des travaux et constructions marines」と、全国の港湾インフラの近代化を目的としたパートナーシップ契約を締結。
- 18-20 日、ブラザビルにて、コンゴ(共)とアンゴラ共和国が第 8 回大型共同協力委員会を開催。両国の専門家は、防衛、経済、国境を越えた貿易、若者とスポーツ、移民、文化、輸送(空と海)部門に関する問題を検討。
- 19 日、ゲオルギー・チェピック駐コンゴ(共)ロシア連邦大使は、ローランド・ブイティ・ヴィアド国民議会第二副議長と、ロシアとアフリカの協力について議論。
- 20 日、スウェーデン、スペイン、カメルーン、キューバの大使がサス・ンゲソ大統領に信任状を提出。

●24 日、ジスレーン・イングリド・オルガ・エブカ＝ババカス計画・戦略・地方統合大臣により第 5 回一般国勢調査(RGPH-5)開始が発表。

●25 日、サス・ンゲソ大統領は、コンゴ(共)とイタリアの石油会社 Eni 社との提携による液化天然ガス処理プラントの建設が、ポワントノワールで開始されたことを発表。

(注) 本月報は、コンゴ(共)に関する各種報道等を元にとりまとめたものであり、当館がその内容の正確性や信憑性を保証するものではありません。また、日本政府やコンゴ(共)政府の公式見解と異なる場合があります。